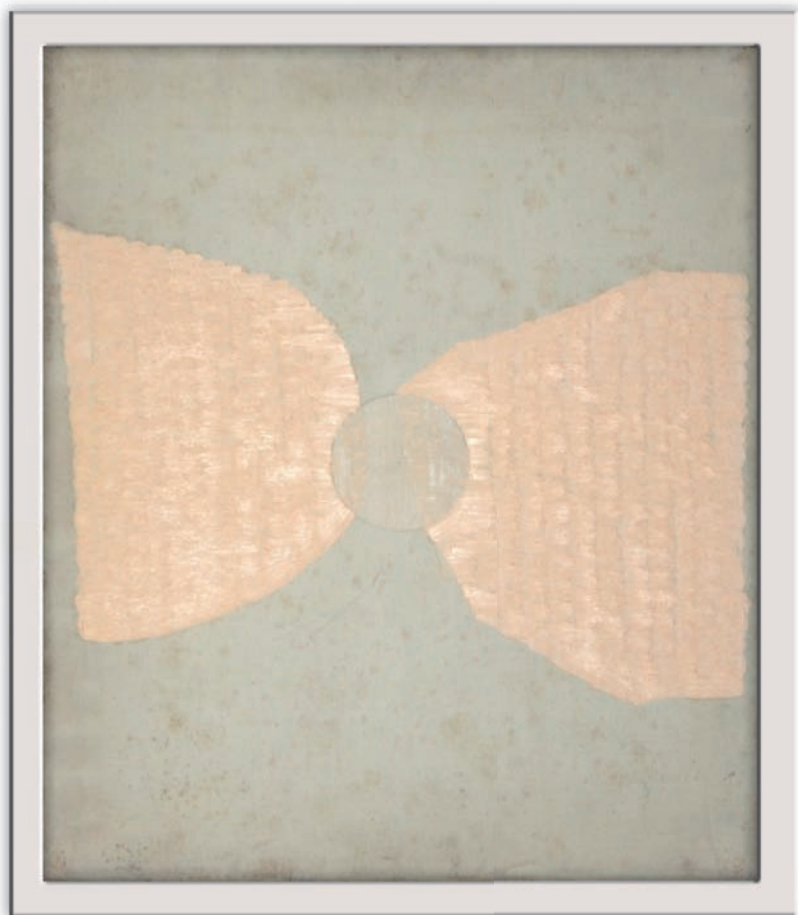





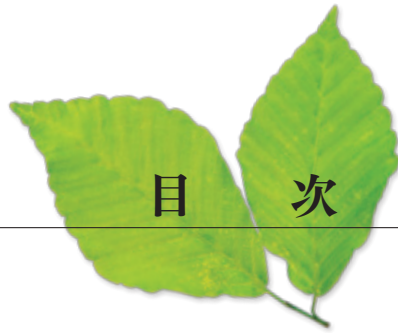
平成21年度採択 文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業
秋田大学「大学間連携と女性研究者支援 in 秋田」

講演会

北欧における女性の社会進出



国立大学法人 秋田大学
男女共同参画推進室□□□二 



目次

室長からのメッセージ	1
プログラム	3
ごあいさつ	
ノルウェー王国大使館	
一等書記官 ドツテ・バッケ氏	5
講演「ノルウェーにおける男女共同参画」	
トロムソ大学医学部附属病院	
トーベ・スメスロー氏	6
質疑応答	16
アンケート	19



室長からのメッセージ

国立大学法人 秋田大学 男女共同参画推進室長
渡部 育子

平成21年度採択 文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業 秋田大学「大学間連携と女性研究者支援in秋田」のプロジェクト2年目の2010年は、男女共同参画の風土醸成が重要な課題のひとつとなります。

講演会「北欧における女性の社会進出」では、「ノルウェーにおける男女共同参画」という演題で Tromsø 大学医学部附属病院のトーベ・スメスロー氏にお話をいただきました。病院遊戯治療師という専門職業と、Tromsø の美しい自然と遊戯治療の実践のスライドが紹介され、ノルウェーの男性と女性、大人と子ども、病院で働くさまざまな専門職の人々の姿に、参加者の目はスクリーンに釘付けになりました。

来賓としてお招きしたノルウェー王国大使館一等書記官のドッテ・バッケ氏は、ノルウェーにおける男女平等の風土について熱く語っていただきました。

振り返ってみると、19世紀の文明開化をはじめとする近代化、20世紀の戦後民主化は、欧米諸国にモデルを求めながらも、単なる真似事ではなく、わが国の主体性が随所に見られます。今、21世紀の始まりの時期、グローバルな視野で新たな「男女共同参画」像を描こうとすると、何が必要かといえば、男女共同参画がより進んでいる国と地域の実情を目で確かめることと思います。目標の数値をクリアするだけでなく、質的な充実をともなった日本型バージョンの創出は夢ではありません。

いくつもの幸運と多くの方々の協力を得て実現した講演会の成果とこれからの課題について、学内外の皆様とともに考えてまいりたいと存じます。



平成21年度採択 文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業
秋田大学「大学間連携と女性研究者支援in秋田」

講演会

北欧における女性の社会進出

日時：平成22年8月20日(金) 17時～18時

場所：秋田拠点センターアルヴェ2階 多目的ホール

●プログラム

- 17:00 開 会
ごあいさつ
ノルウェー王国大使館一等書記官 ドッテ・バツケ氏
- 17:05 講 演「ノルウェーにおける男女共同参画」
講師：トーベ・スメスロー氏
(トロムソ大学医学部附属病院)
同時通訳：秋田大学大学院医学系研究科教授 妹尾 春樹
- 17:50 質疑応答
- 18:00 閉 会

●講師プロフィール



Ms.Tove Smedsrød
(トーベ・スメスロー氏)

1977年-	3年間の文学士(6歳までの年齢グループのための教育学)
1977年-1991年	ノルウェーおよびスウェーデンの幼稚園に勤務
1991年	ノルウェー北部にある大学病院(トロムソ大学病院)の小児および成人病院において遊戯治療の専門家として勤務
1999年8月 -2000年6月	アメリカ合衆国オクラホマ市のオクラホマ小児病院において客員教師
2003年	大学においてさらに1年間の教育学課程を履修(特別な必要を要する小児に焦点を当てた教育)
1990年-2010年	入院中の小児(たとえば危機にある小児といかに意思疎通するか; 臨床栄養; 食事摂取の障害)に関連した臨床的問題に焦点をあてた様々な短期課程を履修

主催：秋田大学男女共同参画推進室 **coloconi** 

後援：日本結合組織学会、マトリックス研究会

【お問合せ】 tel:018-889-2260 e-mail:sankaku@jimu.akita-u.ac.jp

概説

「ノルウェーにおける男女共同参画」

ノルウェーにおける男女同権

ノルウェーにおける働く女性の数は、働く男性の数に急速に近づいており、今日その割合は50対50に近い。女性はすべてのタイプの職業に就いているとはいえ、典型的な女性の職業は教師と看護師である。とくに、トップの指導者は5人のうち1人が女性であるにすぎない。ノルウェー政府は、ノルウェーのすべての就学前小児（年齢1－5歳）は保育園・幼稚園において世話される実現性があることを明言した法律を履行することとなった。この法律は、子供の両親に対して、1年間の有給の育児休暇という極めて有利なシステムに加えて、ノルウェーの女性が職業にとどまるための有利な条件を与えている。最近、ノルウェーにおいては男女の給与（同じ仕事をしていても男性の給与がしばしば女性のそれより多いことに焦点を当てた）に関する政治的な議論がある。

病院遊戯治療師（Specialist in Play in Hospital）

英国およびアメリカ合衆国、北欧諸国における病院遊戯治療師という専門職業の発達に関して歴史的に概説したい。北欧諸国においては、3年間の学士課程教育（就学前の小児に対する教師としての教育を受ける）が病院遊戯治療師としての経歴を築きたい者に対する基礎に相当する。さらに1年間の教育学課程を履修（特別な必要を要する小児に焦点を当てた教育）することが推奨されている。その上に、病院遊戯治療師の専門職を進展させるのに助けとなることを目的とした、北欧諸国の間のネットワークがある。

英国とアメリカ合衆国においては、病院遊戯治療師の教育のバックグラウンドは北欧とは異なっていて、就学前の小児に対する教師としての教育を受ける、3年間の学士課程教育の基礎課程はない。

英国およびアメリカ合衆国、北欧諸国においては、病院遊戯治療師は医師および看護師から尊敬を得ていて、現在では政府や専門家組織から小児のケアにおいて不可欠の部門であると認められている。

ご あ い さ つ

ノルウェー王国大使館 一等書記官 Ms. Dorthe Bakke
(ドッテ・バック氏)



みなさま、こんにちは。

本日はトーベ・スメスローさんの講演会に参加できたことをたいへん嬉しく思います。

私が秋田を訪れるのは、これが二度目です。今年の3月に初めて訪問し、男女平等とワークライフバランスに関するノルウェーの政策についてお話しさせていただきました。秋田大学、そして秋田の方々がこの問題に引き続き関心を寄せてくださり、トーベ・スメスローさんの講演会を開いてくださったことを、とても嬉しく思います。子どもの教育に関する専門家であり、遊びを通じて病児支援をするセラピストのトーベさんが男女平等についてどのようなお話をして下さるのか、たいへん楽しみにしています。

ノルウェーでは、男女平等をめざす政策が進められることにより、父親と母親が共にキャリアを追求することができ、それと同時に子どもや家族と過ごす時間をしっかりと確保することができています。ほかの多くの先進国と同様にノルウェーと日本も人口統計学上の深刻な問題に直面しています。少子高齢化です。日本とノルウェーの出生率を見ると、80年代の中頃はほぼ同じでした。ところが、その後二つの国が進む方向は大きく分かれたのです。日本では出生率はどんどん下がり、現在1.37です。一方のノルウェーは出生率が上がり、2009年の数字は1.98でした。なぜここまで上げることができたのでしょうか。

ノルウェーでは1980年代から家の外で働く女性が増えましたが、その増加率を見ると、出生率とちょうど比例しているのです。つまり、働く女性が増えれば増えるほど、生まれる子どもの数も

増えるのです。ただし、家族を支えるさまざまな施策、たとえば保育園、柔軟な働き方、長い育児休暇、とくに父親の育児休暇などが優先されなかったとしたら、ノルウェー人の生き方はずいぶん違ったものになっていたでしょう。

男女平等は女性だけの問題ではありません。多くの男性もまた、よりよいワークライフバランスを望んでいるのです。父親だけが取得することができる10週間の育児休暇は、ワークライフバランスを実現する重要な手立てのひとつです。

多くの日本の皆様がノルウェーの男女平等の状況について興味を抱いてくださり、40年以上にわたって問題を克服しようとさまざまな政策を積極的に行なってきたノルウェーのことを学ぼうとして下さっていることは、ノルウェー大使館として本当に嬉しいことです。しかし、ここでひとつ指摘しておきたいことがあります。ノルウェーの解決法はすべての国を成功にみちびく青写真、というわけではありません。日本にとって最適な解決法を探るには、さまざまなインスピレーションとアイデアに耳を傾けることが大切でしょう。ノルウェーの例がインスピレーションのひとつとなることを願っています。

それではトーベさんのお仕事について、そして男女平等に関するトーベさんの意見について、お話を聞くことにいたしましょう。

どうもありがとうございました。

講演

「ノルウェーにおける男女共同参画」

トロムソ大学医学部附属病院 Ms.Tove Smedsrød
(トーベ・スメスロー氏)
(同時通訳) 秋田大学大学院医学系研究科教授 妹尾 春樹



秋田にお招きいただきまして、大変名誉に思っております。私はトロムソ大学の医学部附属病院で働く仲間の代表としてここに参りました。私の経験を中心にしてお話しさせていただきたいと思います。

私の住む町をまず最初にご紹介させていただきたいと思います。左の上のほうに見えるのが島でして、そこに町があってもうちょっと右のほうに行くと大学があって、附属病院があって、そして植物園もその辺りにあります。

まず最初に一般的に男女平等というお話しをさせていただいて、そして次に自分の経験をお話しさせていただきたいと思います。

ノルウェーは秋田からは非常に遠い所にあります。

今日のテーマは「いかにして不可能なことを可能にするか」ということです。



私の同僚をご紹介させていただきますけれども、男も女も平等にやっていくという職場です。

1970年代からノルウェーの女性の就職率は上がってきていまして、統計上ヨーロッパにおい



て働く女性の比率が一番高い国です。

とはいえ、まだ女性の職業は比較的限られていまして、教育職そして看護師の職に限られています。女性のほうがパートタイムで働く率が高いです。



職場における幹部ということを考えますと、わずか5人に1人が女性であります。

同じ仕事をしていてもおなじサラリーをもらっているわけではなくて、男を100としますと、このように上から義務教育卒業、それから高校卒業、大学卒業、どの教育程度にあっても女性

Norwegian women's employment

There are still typical women's professions such as the education sector and nursing

Far more women than men work part-time

More and more women are managers, but less than 1 in 5 senior managers are women

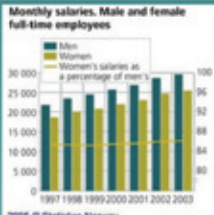


のほうがやや給料が少ないという現状があります。

Equal work = equal pay? (2003)


Compared to men...

- Women with primary education earned 86.7%
- Women with high school degree earned 86.2%
- Women with more than 4 years of education 82.8%



Monthly salaries, Male and female full-time employees

2006 © Statistics Norway



出産しますと、12カ月の休暇が得られます。10カ月は本人、2カ月はご主人のほうですね。それから子ども手当は子どもが16歳になるまでつきます。すべての子どもが保育園・幼稚園にいけるようになっています。まだ100%にはなっていませんけれども。

それから子どもが病気になった時に親が家にいて付き添ってあげることができて、この場合は給料が保障されます。

Measures

- Pregnancy leave 12 months (10 + 2)
- Child allowance, until the child is 16 years
- Kindergarden to all children (87.2 % coverage in 2008)
- The right to stay home from work with sick children (with salary compensation)
- The world's best country to be parents in!




2008年にはここに書いてありますように87.2%の子どもが保育園・幼稚園に行っていますが、今年はほとんど100%に到達していることと思います。

子どもが病気になった時も平均して10日間は親が休むことができ、その場合にも給料は保障されています。

これからプレイセラピーという、遊びによって治療するというお話したいと思います。写真はトロムソ大学のキャンパスの中にある自分が持っている小さな植物園の写真です。



Playtherapy

Development of the profession
My experiences in text and pictures from
The Department of Pediatrics, Child and Adolescent Clinic
The University Hospital of North Norway, Tromsø



まずイギリスとスウェーデンとアメリカ合衆国における歴史についてお話しします。向かって左上のパネルがイギリスの場合ですけれども、この場合も病院で遊戯を中心として治していくというスペシャリストが組織化されたのは1961年です。その教育が整ってきたのが1985年で、Pamela Barnes という先駆者がいました。

History UK, USA and Sweden

Specialists in play in the hospital, UK

- Association formed in England 1961
- Education organized in 1985
- Pamela Barnes, HPSET
www.actionforsickchildren.org

Child Life Specialist, USA

- Education through college with work examination in methodology and practical exercises
- Playtherapy, Yvonne Linquist, Sweden pioneer. Trained therapists play as a separate unit at the college (pre-school teacher education)
- Started NOBAB, Swedish Association for Play Therapists



アメリカ合衆国においては子どもの命の専門家ということで、大学にそのような教育システ

ムがありまして、方法論と実際の実技というものが試験に課されています。

スカンジナビア諸国においては、スウェーデンが一番この分野で先駆けとなっております、プレイセラピーはYvonne Lindquistという人がパイオニアでした。大学の中に就学前の教育を専門とする先生を養成するという部門を設立してきました。そして北欧の諸国においては、そのようなプレイセラピストが組織化されております。

就学前の子どもを教える先生の活動は1970年代に、私が勤めておりますトロムソ大学においては小児科の病棟で初めて行われるようになりまして、今はプレイセラピーといわれていますけれども、その頃はプレイルームといわれていました。この分野ではスウェーデンは非常に進んでいまして、多くのノルウェーの遊戯治療専門家はスウェーデンでいわば組織化されたというか、教育を受け、あるいは刺激を受けています。

その後、ドランメン市、オスロの南にある港町ですけれども、そういうところにプレイセラピストの組織ができあがってきています。

写真は私と私の同僚でありますイーグリーです。



ノルウェーにおきましてはオスロで1963年に初めて就学前の子どもを教えるという先生の教育が始まりました。

病院における子どもは権利を持っていないわけじゃないです。そして病院等の施設に入っている子どもたちはそのような保護のもとになけれ



ばいけません。子どもというものは健康が許す限り、活発で、刺激を受けなければいけません。

18歳以下の患者さんはすべて子どもと定義されています。これらの子どもは小児科病棟あるいは思春期の子どもの病棟に入るようになっています。

異なった世代の子どもの教育、活発な毎日、そして刺激を受けることのために、それに見合った部屋が供給されなければいけません。

子どもは教育のプログラムそして年齢と発達に応じた様々な行動をできるように、そういう施設を提供されなければいけません。

子どもの権利という話を続けると、就学前の子どもというものは就学前の子どもを教え



る先生の指示のもとに教育を受けなければなりません。

Children's rights cont..

§ Educational activities for preschool children should preferably take place under the direction of a pre-school teacher

Children with special needs, see Patient Rights Act § 6-4 and Education Act § 5-7

Definition of children are persons under 18, matching the UN's Children's Rights Article 1



プレイセラピストはどのようにして働いているかということをご紹介したいと思います。

How to work as a Play-Therapist?



私の小さい患者さんや、また同僚のご紹介をしたいと思います。

私のことを少し紹介させていただきますと、1970年から保育園・幼稚園で助手をしておりました。1977年に Tromsø の、教師を養成する大学コースをとりまして、そこでは就学前の教育の専門家としての教育を受けました。1977年から91年までノルウェーとスウェーデンにおいて就学前の子ども、保育園・幼稚園の子どもたちの専門的な教師として働きました。

1991年来 Tromsø の大学病院においてプレイセラピストの専門家として働いております。そしてさらに追加の大学教育を、すなわち特別なニーズが必要な子どもの教育のコースを受けました。自分の専門とするところは、食事がうまくできない子どもとそれから思春期の人たちに、特に焦点を合わせて、それらの子どもたちの身体と自尊心というか、そういう心の問題を特別

に扱っています。

また1年間にわたって米国のオクラホマの小児病院においてプレイセラピストとして、客員の専門家として働いたことがあります。

About myself

- ◆ Assistant in kindergardens from 1970
- ◆ Preschool teacher (1977, Teachers College, Tromsø)
- ◆ Worked as a preschool teacher in Norway and Sweden 1977-1991
- ◆ Since 1991: Employed as Specialist in Play in Hospital, University Hospital, Tromsø
- ◆ Additional university education: Children with special needs
- ◆ Specializing in: Body and self-esteem, focusing on children and adolescents with eating disorders
- ◆ Visiting specialist in play in hospital (1 year) at Childrens Hospital, Oklahoma



今働いている Tromsø 大学病院のスローガン、すなわち私達のスローガンは“不可能なことを可能にする”です。

私達の病院のロゴは飛ぶペンギンで、いつか不可能なことを可能にするということです。もちろんペンギンは北極の近くにある私どもの大学にはいません。その地域にはいませんけれども、これをロゴにしております。

その意味するところは、不可能なことを可能にする。ちょうどペンギンを飛ぶことができるようにする、そんなことを私達は願っています。そういう意味です。

私自身のモットーとしては、子どもたちの希望をかなえてあげたい。そしてそれが例えば最初には不可能に見えていても、かなえてあげたいということです。

「Carpe Diem」は今日を楽しめというラテン語です。

自分が子どもたちの世話をしていると何が起るかわからない。このお子さんは骨折をしている。しかもこの子は2度目の骨折で入院しています。プレイではこの子自身が医師になって、お人形さんの骨折を治してあげるということを病棟でやっているところです。

このお子さんはギプスをするというのが嫌いじゃなくて、左側にいるプレイセラピストがギ

プスを作ってあげているところです。2時間こういうことをやっていますけれども、とても楽しい時間です。



プレイセラピーというのはなんでしょうか。子どもにとっては遊ぶということが毎日なんとか生きていくための道具なわけです。そして子どもたちの遊びに耳を傾けるということによって、私達は子どもたちを助けることができます。

カギとなる概念は“遊びそして耳を傾ける”ということです。



“遊びと耳を傾ける”ということはどういうことかという、プレイセラピストにとって最も大事な義務としてやらなければいけないことは、そこにいるということです。

そして子どもたち、子どもの患者さんが強い役割を果たせるということ。

子どもは賢い、プレイセラピストは愚かだ。それから子どもは苦しんでいる。あなたは一步引いて、あなたは主役ではなくて一步引いて見

てあげるとのこと。子どもは強くて美しい。あなたは弱くて、ちょっとカッコ悪いのよということです。



子どもはプレイセラピストが聞いてくれるとわかると、遊んでいることを子ども自身がコントロールして、その子どもが持っている問題がわかってきます。

これは遊んで聞くというセッションですけれども、私達プレイセラピストに非常にユニークな機会を与えてくれて、子どもにとって中心的な問題は何かということを教えてくれます。そしてその場での自由自在な遊びとセッティングによっていろんなことがわかってきます。

この写真の場合はお子さん自身がドクターになっていて、お父さんが左にいて、お母さんが右にいるというような状況を作っています。



病院における非常にいい遊びの状況というのをどうやって作っていくか、促進していくかということですけれども、まず物理的な環境があります。そしてもう一つはプレイに焦点を合わ

せるということが大事かと思われま

す。年齢は0歳から15歳まで多岐にわたっていま

Security Column



- ◆ Magne Raundalen, Norwegian child psychologist
- ◆ How and why build a security column?
- ◆ Preventing trauma
- ◆ Harmony
- ◆ Social development
- ◆ Concentration
- ◆ Competence
- ◆ I can do it!



19

How to encourage good play situations in the hospital?

- ◆ Physical environment
- ◆ Mental
- ◆ Method
- ◆ Focus on the play!



20

Age span from 0 to 15 years



21

これは4歳の子どもの写真ですけれども、重症な湿疹を持っています。医師は最初のスライドの左側にあった紫外線を発する部屋に1人に入って来なさいということをするわけですが、4歳の女の子はそんなことはできないのです。私がよく見ていると、人形が好きな女の子でした。人形さんの手に湿疹を作って遊んで

いたので、その人形さんにもサングラスをかけてトーブと一緒に治療室に入りましょうということで、あの子に紫外線を受けるという治療をさせることができました。不可能なことを可能にした一つの例でしょうか。


Making the impossible possible through play

- ⑩ Safe limits
- ⑩ Permanent appointments
- ⑩ Predictable
- ⑩ Positive experiences



22

We did it!



23

この少年はベッドから起き上がることもできないんですけども、ロックがとっても好きでフェスティバルに行きたいと言っていたそうです。そこで私達はベッドのままロックフェスティバルに連れていくということをして、これも一つ、不可能なことを可能にしたというふう

Making the impossible possible



24

に考えています。

どういふふうにいるんな目標をかなえていくかということですが、まずは病んでいる子どもにいつも精神を集中しているということです。そして長くは病院に入院しないようにしてあげるといふふうに、刺激しています。

そして子どもたちにいい体験をさせてあげて、入院期間を短くして、それは治療が早く終了するということを意味すると思います。



Objective

- ⑩ Keep the spirit going for the sick child
- ⑩ Stimulating, to prevent long-lasting hospital stay
- ⑩ To give the child good experiences
- ⑩ Short processing time= faster recovery!

(A photograph of colorful flowers is shown on the right side of the slide.)

プレイセラピストにとって非常に大事な鍵となる姿はなんでしょうかと考えますと、まずは教師として、つまり就学前の子どもを教える専門的な役割を持った教師としての自信を持っているということ。

それから病む子どもたち、非常に重く病む子どもたちと共に働くという能力があって、基本的な医学用語が理解できるということです。

非常に柔軟に教育を行うことができるということ。そして創造的であるということ。感情を移入することができる能力があるということ。それからユーモアのセンスがあるということ。子どもを大人との関係においてもよく見ることができる能力があるということでしょう。

子どもは単独で治療にあたっているわけではなくて、理学療法士、音楽療法士といった人たちとも協調しあって患者さんに対応しています。一つの例としては肺炎とか、嚢胞性線維症のような呼吸器の病気の子どもの場合を挙げてみます。

肺を強くしなければいけないので、吹くとい



Key features of the play specialist

- ◆ Confident in the professional role as a pre-school teacher
- ◆ Ability to work with seriously ill children and understand basic medical terms
- ◆ Ability to improvise, "standup-pedagogue"
- ◆ Creative
- ◆ Empathic listener
- ◆ Sense of humor
- ◆ Ability to see the child in an adult environment

うことをやっています。これは風船だとか、ストローだとか、ティッシュペーパーとか、羽を「吹く」ということ。そうですね、これは理学療法士の仕事でしょうか。

それから腕を高く上げるということ。これは音楽療法士の役割で、“小さな小さなクモさん”という歌を歌ってもらいます。その理学的な活動はまたこれはスライディングするというような格好をさせるということで、とにかく単独でプレイセラピストというのは治療にあたっているわけではなくて、音楽療法士や理学療法士の皆さんと共に協同して子どもにあたっております。



Example on play used in treatment in cooperation with the physiotherapist, music therapist and specialist in play

Respiratory complications (for instance cystic fibrosis, pneumonia)	
Blowing	Bubbles, straws, tissue paper, feathers
Arms high above the head	Sing songs with movement such as "Itsy bitsy spider"
Physical activity	Slide head first down

私達は何を提供できるかということ、芸術とか工芸ですね、絵を描いたりすること。あるいは織物をする。パンなんかを作ったりすること。それからロールプレイですね。小さな病院で子どもたちに働いてもらうということ。また、演劇をやったり、音楽をやったりします。

そして建築ということもやります。それはレ

ゴとかブリオを使ってやります。

肉体的な活動としては、屋内で体操したり、アウトドアでサッカーをやったり、バスケットボールをやったり、そして自然に触れて自然の匂いをかいだりとか、音を聴きます。

また園芸療法といって、ジャガイモを自分の場所に植えて、水をやってそれを面倒見て、それを収穫するというようなことです。



これは子どもの患者さんのユーモアのセンスを表した絵ですけれども、明日注射を受けなければならぬんですけれども、それを左で“ママ、楽しい経験だったら今日やってよ。大きい注射だって、僕はへっちゃらだ”ということです。



病院において楽しみとユーモアを持つことはどういう意味があるのでしょうか。人生において非常に厳しい局面にあった時に、その時こそあなたの目の中に輝きをもつように頑張りなさい。

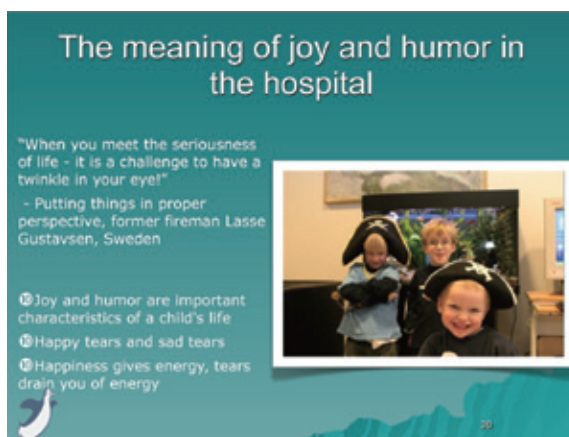
かつてスウェーデンで消防士をしていたLasse Gustavsenという方がいて、この方は20代で大や

けどを負ってしまって、顔が見るも無残なものになってしまいました。

でも彼は非常に前向きに物を考えるようになって、子どもの生命というものを考えています。それで世界中を回って子どもにとって非常に大事な特徴というものは、楽しくてそしてユーモアがあることなんだと説いています。涙にも幸せな涙と悲しい涙とあって、幸せな涙はあなたにエネルギーを与えるでしょう。でも悲しい涙はあなたからエネルギーをうばっていくということです。顔がぐちゃぐちゃになっている、スウェーデンのかつての消防士の方が世界中を回って、病む子どもたちをいつも勇気づけていてくれます。

ものすごくおかしくて笑う時には、皆さん涙を流して笑われる事があるでしょう。そういうのは幸せな涙であって、そういう涙こそが皆さんにエネルギーを与えてくれます。

ほんとに悲しくて涙を出す時は、エネルギーが取られちゃう時ですよということです。一緒に笑える能力というのは大事で、そこからエネルギーと楽しさが出てきます。



左も右も道化役をやっているんですけれども、左が私自身で、右側がドクターです。皆で一緒に笑っています。

いくつかの病院では病院の道化という人たちがいます。

黄色い服を着た人はスウェーデンの道化さんです。病院の道化さんで、左とか後に写っているのが、トロムソ大学の病院の道化をやっている



なって最初二つのジャガイモの収穫がありました。2時間のうちにそれをどんどん掘って、右の下にあるようなたくさんのジャガイモを手に入れたので、この子はガーデンがあるこの病院がとても好きになったということで、治療にも協力的になりました。

る方です。決して騒いだりとか、全員を笑わせたりするのではなくて、静かに過ごしていますから、子どもたちが興味を持って寄ってきて、それで仲良くなるということです。



秋になるとブルーベリーのようないろいろなベリーができますから、それを摘みにいきます。バーベキューも一緒にやるんですけども、身体の状態がよければ外に出て自分で摘むことができる。それから左下の少年のように枝を持っ

トロムソにも四季があります。これは小さな植物園に秋が訪れたところです。

これらも園芸療法の一つですけれども、この少年は病院が嫌いで、嫌いで仕方がなかったんですけれども、ガーデンに七つのジャガイモを植えたところです。これが6月でした。8月に



てきてもらって、自分でそれを摘むことができる。下の子はそういうこともできないので、ベリーから今ゼリーを作っているところです。ちなみに右端の白衣の2人はお医者さんたちで、バーベキューを楽しんでいます。

小児病棟の近くには、小さな植物園がありますから、ここに行って楽しい経験もできます。



ヘリコプターの基地も訪ねることができます。



大学附属病院ですから、自転車に乗って大学を訪問していくということで、この長い廊下を自転車に乗っていくことができます。この子は



自転車が好きな子どもです。

子どもたちにとってはアイドルや良きロールモデルというのが大切です。このスキンヘッドにしている人はノルウェーのスピードスケーティングのオリンピックの選手で、非常に有名なアイドルなわけです。人気のある人で、この人が病院を訪れてきてくれまして、左下にあるように、ボードから顔を出して、子どもたちはスポンジなんか投げるんですね。投げる権利は右上にある缶の中にコインを入れるということで得ます。それで、お金も集まりますし、それから右上の写真にあるように病気の子どもと一緒に病院の中で今スキーを楽しんでいるところです。



皆さん、ご静聴ありがとうございました。



質疑・応答

講演者のトーベ・スメスローさんが当日の通訳者の妹尾に「あなたから質問はないか」と訊いたので、自身では返答せずに妹尾はご主人のポール・スメスロー教授に水を向けている。

妹尾) まず、ご主人に質問します。彼女のことをすごく助けているように見えるけれども、家の中ではどうなのですか。

ポール・スメスロー) 私たち夫婦はいつも分かち合っています。どっちがボスでどっちが子分ということではなくて、家庭の中で分かち合っているということです。

妹尾) 日本の社会も今男女共同・男女平等ということを目指して一生懸命やっていて、スローガンもいっぱい出ているけれど、なかなか本当に男女共同・男女平等にはならない。

ところが、ノルウェーを中心とした国はスローガンだけではなくて、本当にそういうように実現しているように私には見える。それにはどういう秘密がありますか。

スメスロー) なかなか答えるのは難しい質問けれども、私たちは本当に心から平等でありたいと願っている。それが一つの答えではないでしょうか。

司会) 先ほどのお話の中にプレイセラピストだけではなくて、理学療法士それから音楽療法というのは、あるいはコメディカルなこととともきれいなスライドで出ていましたけれども、こういう機会はめったにございませんで、何かご質問などございませんでしょうか。お願いいたします。

会場女性A) ご講演どうもありがとうございました。プレイセラピストについて伺いたいのですが、この職業は男性も女性もやはり半数ぐらいいていらっしゃる仕事なのではないでしょうか。日本で

と印象として女性の仕事というのを私はスライドを見て、感じたんですが、いかがでしょうか。
スメスロー) 男の人の職業としても非常に人気のある職業です。

就学前の子どもの教育の専門の先生とか、保育園・幼稚園の先生も男の人にもとても人気のある職業です。



司会) よろしいでしょうか。他にございませんでしょうか。今日はトーベ・スメスローさんもちろんですけれども、先ほど来賓としてご挨拶いただきましたドッテ・バッケ様からノルウェーのことで聞きたいことがあれば何でもお答えしますとありがたいお申し出を頂戴しております。何かございませんでしょうか。お願いします。

会場女性B) 実は初めてプレイセラピストという言葉に接したのですけれども、日本だと割と幼稚園の先生とかそういったことになるかと思うんですけれども、資格のようなものはやはりノルウェーと日本では異なっているのでしょうか。

スメスロー) ノルウェーとかスカンジナビアにおいては、大学で3年間の教育を受けることが、この就学前の子どもの教える専門の先生には必要です。アメリカでは2年間必要。おそらく日本ではまだ整備されていないのではないかと思います。ですけど。

私が東京で会ったある女性の方はそういう資格を取るためにアメリカに留学して、2年間勉強してきたということを聞きました。

日本はその辺はまだそういう専門家を養成するシステムは整備されていないんじゃないかと思えます。

会場男性A) ドッテ・バッケさんに聞いていいですか。最初の話で70年代からノルウェーでは働く女性がどんどん増えて、同時に出生率が上がったということをおっしゃいました。日本の場合一番の問題は今出生率がどうしても上がらないことなんですが、なぜノルウェーでは働く人が、女性が増えた時に、出生率が上がるということが起こったのか。何か政府としてバックアップがあったんでしょうか。

バッケ) ご質問ありがとうございます。

そうですね、日本では女性が働く率が高くなると出生率が下がるという話をよく聞きますけれども、ノルウェーではそれは逆ということがこの過去20年でわかってきました。

ノルウェーでは女性にとってキャリアも家族も両方大事なことで、両立することが目標になりました。だからノルウェーの女性は、大学を卒業して、就職して、そして相手を見つけて子どもを作る。でも家族ができてキャリアを続けることができます。ノルウェーの女性が仕事を続けられるように、いろいろな政策が支えています。

例えばノルウェーでは保育園をたくさん作りました。トーベさんの話の中にもありましたが今87.5%の子どもが保育園に通っています。保育園がないともちろん女性は働くことができません。子どもを預ける場所がないと働けないでしょう。

そしてもう一つが1年間の育児休暇ですね。子どもを産むと1年間の休暇、有給休暇を取ることができます。だから子どもが小さい時は家で面倒を見ることができます。そして1年経ったらまた同じ仕事に戻る権利があります。そういういろいろな政策を行って、家族と仕事の両立をサポートしているのです。

だから政府はお金を出して、いろんな家族が助かることを実現したのは、そのバックグラウンドだと思います。

司会) ありがとうございます。

会場男性B) ドッテ・バッケさんに質問なんですけど、1970年代は出生率が日本とノルウェーと同じだったということを伺いました。日本の場合ですと有給休暇をとっていい日にちはいっぱいあるんですけども、実際には取りづらい雰囲気があるんですね。

ノルウェーが1970年代はどうだったのかということをお伺いしたいのと、仕事の時間というのがもし5時で終るとしたら、5時ぴったりに帰らないと幼稚園とか、保育園とか迎えに行けないですよ。

日本だと5時ぴったり、定時に上がるというのは上がりづらいというのがあってですね、その辺が1970年代どうだったのかと。今はきつとすぐに上がれるシステムがあるんでしょうし。

バッケ) ありがとうございます。そうですね、出生率が同じだったのは80年代の中頃でした。ノルウェーでは60年代、70年代と出生率が急に下がりました。80年代からまた上げることができました。

やっぱりノルウェーと日本では文化の違いが大きいですね。だからノルウェーでやったことはそのまま日本に移しかえることは難しいだろうと思います。だから日本では日本に合うやり方を見つけなければならないと思います。

またノルウェーのやり方は、歴史的に見なければならないんですね。ノルウェーでは労働者そして女性にとっての権利の闘いがとても強かった。特に60年代から70年代にかけて労働者は権利のために闘いました。だからノルウェーでは労働者の法律、労働時間がとても厳しく決まっています。

だからそういうところが男女平等にも影響しています。例えばノルウェーの労働者は、だいたい朝8時から午後の4時まで働きます。もちろんノルウェーの人も残業しますけれども、そんな毎

日ではないです。

そして残業も時間が限られています。日本でもそういうことは色々法律でも決めてあるんですけども、どうしても残業します。そして有給休暇はとらない、長い夏休みもとらない。こういうところは文化の違いだと思います。ノルウェー人は「権利があれば当然とる」という考え方がありますので。

これからは、日本の女性も男性もワークライフバランスをとるために、国から、政府から権利を獲得しなければならないと私は考えているんですけれども。

一番重要なのは日本の道を見つけるということですね。

会場女性C) お伺いしたいんですけども、日本では働こうと思ったら、ほんとに子どもを持って働こうと思ったら、個人の努力に頼るところがあって。ノルウェーでは1980年代から女性が働こうとなった時に男性の方も女性が働く、社会進出するのを後押しするようになった経緯というのはどのようにされたんですか。

日本で男性の方を意識改革していくのにはどのようにしたらいいかということをお教えください。

バック) それはぜひトーベさんにも聞いてみたいですね。(トーベさんと話す)

私自身は、1980年代にどういう状態だったかあまり詳しくないので、今トーベさんに聞いてみました。

やはり思ったとおり、ノルウェーが70年代か80年代に入ると、経済的な理由から夫婦2人とも働かなければならないことになりました。

だから家庭生活を営む一家を建てたり食料品を買ったり一ためには2人とも働かなければならなかったのです。男性だけの給料で豊かな生活はできなかったので、女性も働かなければならなかった。だからその両方、経済的な側面と女性が働く意欲、その両方あって女性がだんだんと職場に進出することになりました。

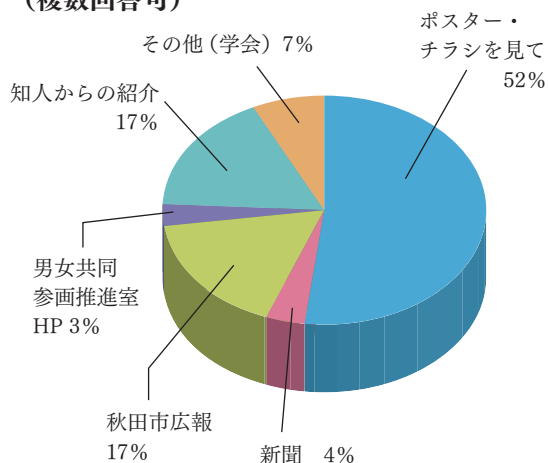
司会) ありがとうございました。

講演会「北欧における女性の社会進出」に関するアンケート

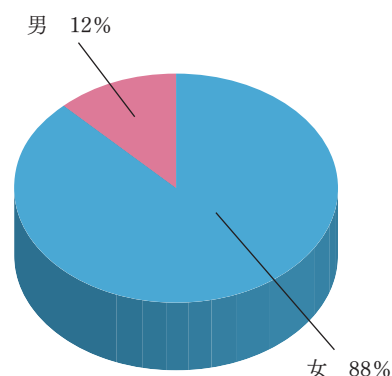
平成22年8月20日(金)実施



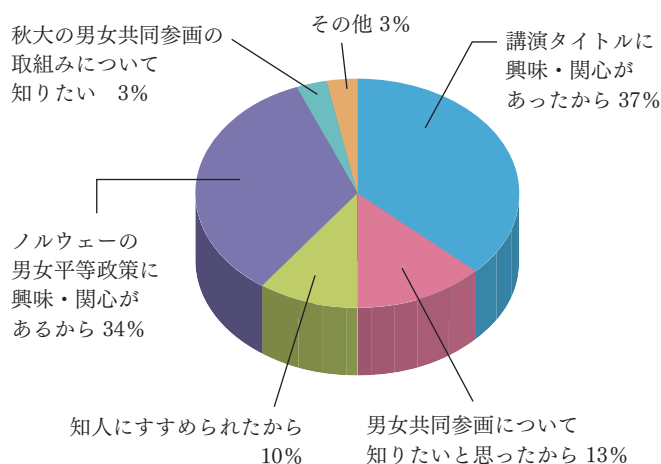
1. シンポジウムをどのようにして知りましたか (複数回答可)



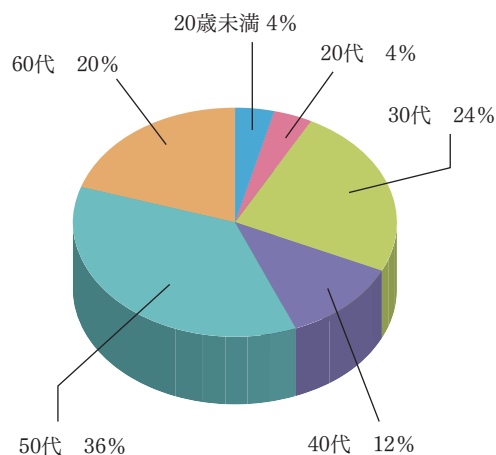
4. 性別



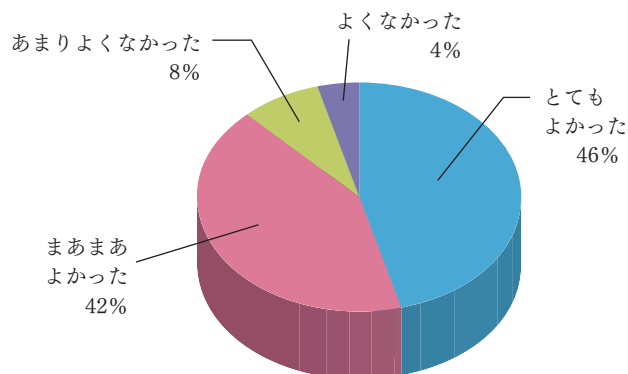
2. この講演会に参加された理由は何ですか (複数回答可)



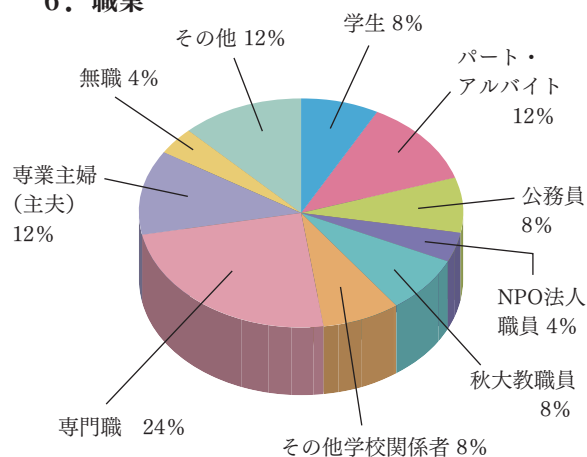
5. 年齢



3. 講演内容について



6. 職業



3-1. それはなぜですか。

- 1 もう少し、女性の社会進出を促進するには、具体的に、ノルウェーでどのような活動をしてきたのか話をさせていただきたかった。
- 2 プレイセラピー。遊びの中にも心を健康にする力があるということが分かった。
- 3 Making the impossible possible.素晴らしいことです。
- 4 プレイセラピストという職業を知ることができたので。
- 5 具体的な政策やその内容がよくわかったから。
- 6 男女共同参画があまり興味のない人や、初めて話を聞く人にも分かりやすかったから。
- 7 分かりやすい英語である程度英語が分かる人には、通訳なしでも話を聞いて理解できるものだったから。
- 8 プレイセラピストについて理解できたのでよかった。
- 9 プレイセラピストの仕事についてお話を伺うと思わなく、ちょっと演題と違うという気がしましたが、いいお話を聞くことができてよかったです。
- 10 日本でもこのような職業は必要と思います。ノルウェーは人間を大切にしている国と思いました。
- 11 プレイセラピストという職業を初めて知った。
- 12 働き方についても説明があればよかったと思う。
- 13 演題とはちょっと内容が異なっていたので。
- 14 タイトルと内容が異なっていたため。
- 15 通訳の文脈が分からなかった。
- 16 ノルウェーの男女共同参画の取り組みを知ることができたから。
- 17 内容もさながらスピーチの英語が部分的にですが理解できました。
- 18 講演内容は、男女共同参画の問題とは直接には関係ないと思われるから。
- 19 「北欧における女性の社会進出」に関する話はほとんど聞けなかったと思う。
- 20 内容がよくわかりました。
- 21 とてもいい写真でした。
- 22 トーベさんの仕事について興味深く知ることができました。トーベさんの優しさが伝わってきて、気持ちの良い時間でした。

7. 自由記述

- 1 保育園で働いています。ノルウェーでは子どもが病気の時、10日間の有給のお休みがもらえるとのこと。日本でもせめて5日でもお休みして子どもの病気を職場に気遣いなく完治することができたらいいと思います。子どもと職場の両方しんばいしながらでは、とても母親が気の毒です。全ての職場にそのようなシステムができますようにと思います。
- 2 働く女性の一人として素晴らしい機会をいただき、ありがとうございました。ノルウェーに一度行きたい！「プレイセラピスト」初めてうかがいました。
- 3 こういう北欧の素晴らしいところを秋田でも知ることができる機会が増えるといいと思いました。
- 4 県に「男女共同参画…」があるのは知っていましたが、秋大にもあったことに少々驚きました。他県、他国の他業種の状況や具体的な内容についての情報や交流がほしいと思っていました。講演の後の質疑応答での「ノルウェーの男女共同参画の実情」がとても興味深かった。
- 5 講演の後のディスカッションがよかった。
- 6 たくさんのキーワードありがとうございました。
- 7 定期的にこのようなシリーズを開催していただければまたぜひ参加させて頂きたい思います。
- 8 朝日放送テレビのスーパーモーニング（朝8：00～）で8/18～20の3日間、スウェーデンのことが取り上げられていて、とてもよく女性の社会進出と社会保障制度の仕組みが分かりました。ビデオに撮って周りの人に見せようと思っています。Playtherapyについて。社会的に必要なことを職業として社会全体の幸福感を形作っている点、見習わないといけないと思いました。

「北欧における女性の社会進出」に関するアンケート

本日はご来場いただきましてありがとうございます。今後の事業の参考とするため、皆さまの率直なご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。どうぞ宜しくお願いいたします。

以下の項目について、いずれかに○をつけるか、記入してください。

1. シンポジウムをどのようにして知りましたか。(複数回答可)

- ①ポスター・チラシを見て ②新聞やTVを見て ③秋田市広報 ④秋田大学ホームページ
⑤男女共同参画推進室ホームページ ⑥知人からの紹介
⑦その他 ()

2. この講演会に参加された理由は何ですか。(複数回答可)

- ①講演タイトルに興味・関心があったから ②男女共同参画について知りたいと思ったから
③知人にすすめられたから ④ノルウェーの男女平等政策に興味・関心があるから
⑤秋田大学の男女共同参画の取り組みについて知りたいと思ったから

3. トーベ氏の講演内容についてどのように思いましたか。

- ①とてもよかった ②まあまあよかった ③あまりよくなかった ④よくなかった

3-1. それはなぜですか。(自由記述)

()

あなた自身についておたずねします。

4. 性別 ①女 ②男

5. 年齢 ①20歳未満 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

6. 職業・所属

- ①学生 ②パート・アルバイト ③会社員 ④公務員 ⑤NPO法人職員
⑥秋田大学教職員 ⑦その他学校関係者 ⑧専門職(弁護士・医師・会計士等)
⑨男女共同参画団体関係者 ⑩専業主婦(主夫) ⑪自営業 ⑫無職
⑬その他 ()

7. その他ご意見がございましたらご記入ください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。ご記入後は会場出口の回収箱にお入れください。

秋田大学 男女共同参画推進室

講演会「北欧における女性の社会進出」

発行 2010年10月
編集 国立大学法人秋田大学 男女共同参画推進室
連絡先 〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号
TEL 018-889-2260
URL <http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>
E-mail sankaku@jimmu.akita-u.ac.jp